# AIオンデマンド交通の運行（地域交通の利便性向上）と『コトづくり』の連携に伴う、人流創出による町の活性化と持続可能な交通体系の構築（大阪府豊能町）

**まちづくり×交通**

国土交通省

## 事業実施主体

【共創プラットフォーム】
豊能町AIオンデマンド交通共創プラットフォーム
【実施主体】阪急バス株式会社
【共創パートナー】豊能町役場（自治体）
京都タクシー株式会社（交通）
株式会社池田泉州ホールディングス（金融）
SWAT Mobility Japan株式会社（情報）他

## 地域課題

- 豊能町：人口減少・流出、高齢化率の上昇、勾配のある地形、空き家の増加、街の活力低下
- 阪急バス：利用者の減少、補助金で賄えない赤字、運転士の不足、働き方の変化への対応
- 需要と供給のバランス調整（収支改善）のため路線バスは縮小の一途をたどり、負のスパイラルに陥る。

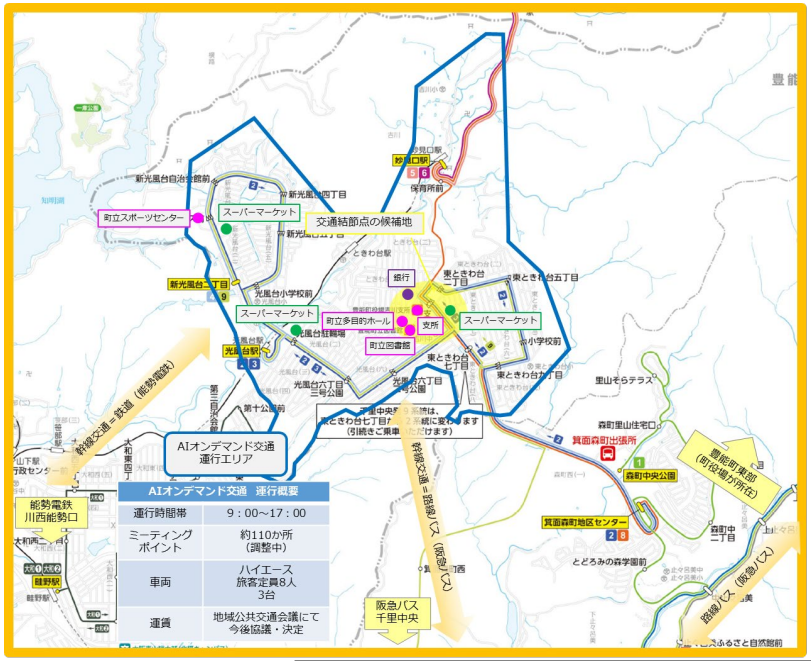
## 実証事業の内容

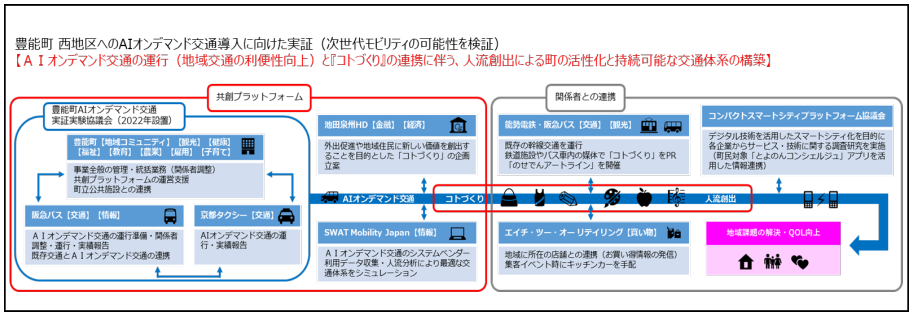
ＡＩオンデマンド交通が既存交通や『コトづくり』会場を繋ぎ、『コトづくり（まちおこし・まちかつよう・まちづくり））』との連携による相乗効果を上げ、持続可能な交通体系の構築を目指す。

## 今後の展開

【自治体と交通事業者との連携】ＡＩオンデマンド交通を本格実装後は既存交通との連携を深度化。
【利用促進・利便性向上に関する取組み】公共・商業施設と連携し、ＡＩデマンド交通の待ち合い場の確保など利便性の向上。
【収益性の向上に関する取組み】地域サポート制度を設け、運行以外の収入確保。

## 事業実施区域




「国土基本情報（国土地理院）を加工して作成」

## 事業体制